

名人シリーズのデータファイルが格納されたフォルダ

(他社バックアップソフトをご利用いただく場合の参考資料)

本資料は、他社製のデータバックアップソフトをご利用のお客様のために、弊社製品『賃貸名人』『売買名人』『リフォーム名人』のデータファイル格納場所等について説明します。また、後述の理由で失礼ながら本資料はパソコンやデータの取り扱いに習熟した方向けと位置付けますのでご理解ください。

1. はじめに - ご注意事項 -	1
2. 名人シリーズのデータファイル名/格納フォルダ	3
3. プレコマンドとポストコマンド	4
4. 画像やオプションソフトのフォルダ	6

1. はじめに - ご注意事項 -

弊社が提供する自動バックアップソフト

弊社では『自動バックアップツール ダンゴバックアップ』(以下『ダンゴバックアップ』と表記)を開発・販売しております。『ダンゴバックアップ』は、設定したスケジュールで Microsoft SQL Server に登録された最大 3 つのデータベースのバックアップファイルを取得することができます。

他社バックアップソフトと障害発生時の復旧について

他社製のデータバックアップソフトでコピーした弊社製品のデータファイルは、弊社製品で取得するバックアップファイルとは形式が異なります。そのため、実際に機器障害等が発生した際の復旧手順が、通常の復旧(リストア)作業とは異なり、弊社ではその手順に関する資料等を提供しておりません。該当製品のメンテナンスサポートサービスをご利用いただいている場合は、この復旧作業に関して弊社にて情報提供を行うことが可能です。訪問による現地復旧作業サポートをご希望される場合は費用が発生いたします。

- ①名人シリーズの「データベース管理」ツールで取得したファイル
拡張子「dmp」形式
- ②弊社製自動バックアップソフト『ダンゴバックアップ』で取得したファイル
拡張子「BUF」形式
※拡張子は異なるが「dmp」形式のファイルと同一の内容
- ③主な他社製のバックアップソフトで取得したファイル
拡張子「mdf」形式および拡張子「LDF」形式の 2 ファイル

他社バックアップソフトのサポートについて

他社バックアップソフトの設定、障害対応、その他のサポートを弊社にて行うことはできません。

リストア試験

データファイルが正常に取得できているか、リストア(データ復旧)の試験を実施すること推奨します。リストア試験は運用環境と異なる試験用のサーバで実施してください。

通常のバックアップ手順の併用

他社バックアップソフトによるデータコピー処理とは別に、弊社が提供する「データベース管理」ツールによるバックアップ処理も定期的実施してください。他社バックアップソフトの仕様によりませんが、データ同期処理の場合は人為的なミス、差分バックアップ処理の場合はデータ再構築失敗のリスクがあります。

免責事項

他社バックアップソフトの設定ミス、動作不良、その他の原因でデータファイルのコピー等に失敗した場合、弊社は責任を負うことができません。

コピーの成否については、以下の目安を参考にしてください。

- ・タイムスタンプとその変化
- ・データ容量とその変化

※タイムスタンプやデータ容量が一見正常でも、数世代を経て変化が無い場合は異常を疑ってください。

また、本資料を参考にした結果のいかなる障害・問題についても、同様に弊社は責任を負うことができませんのでご了承ください。

テーブル情報等データベース仕様の非公開

本資料は名人シリーズのデータファイルの場所と他社バックアップソフトを用いる場合の一般的なノウハウを紹介します。弊社では名人シリーズのテーブル構成等、データベースの仕様については情報を公開しておりません。弊社にお問い合わせいただいた場合でもこれらの情報提供を行うことができませんのでご了承ください。

2. 名人シリーズのデータファイル名／格納フォルダ

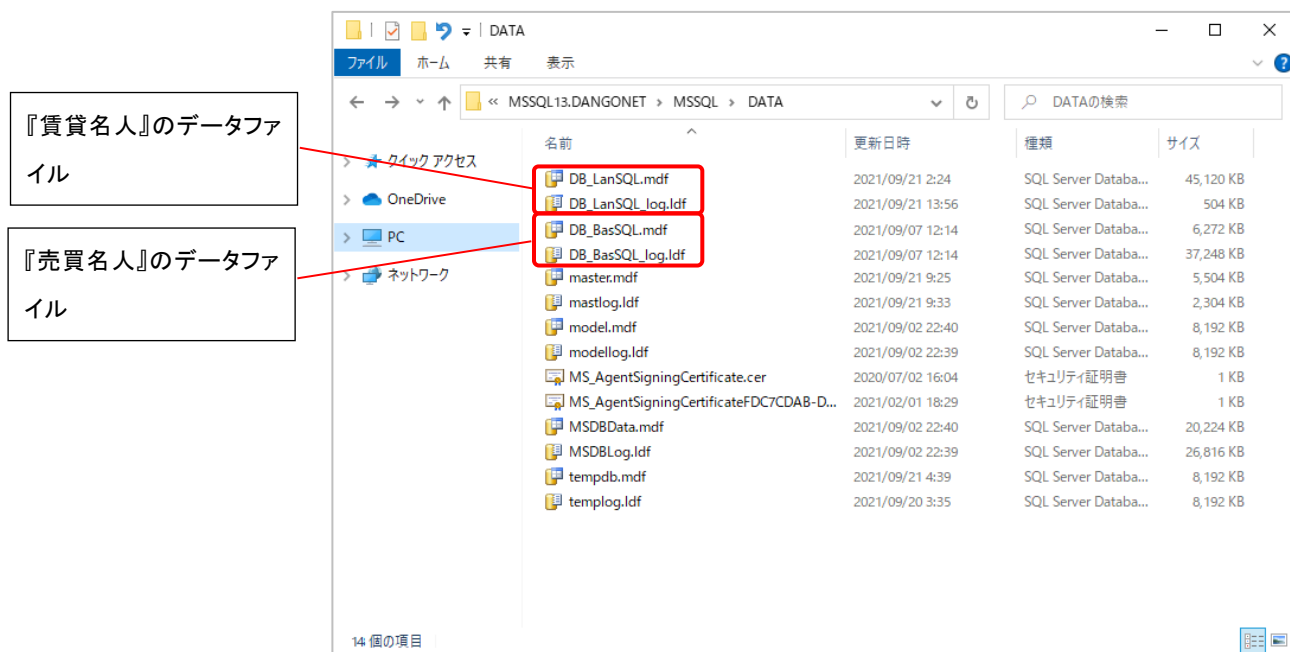
名人シリーズのデータファイル名

ソフトウェア名	データファイル名.拡張子 ※1
賃貸名人	DB_LanSQL.mdf
	DB_LanSQL_log.LDF
売買名人	DB_BasSQL.mdf
	DB_BasSQL_log.LDF
リフォーム名人 ※2	DB_ComSQL.mdf
	DB_ComSQL_log.LDF

※1 OS の設定によっては、拡張子(末尾の.XXX)が非表示にされている場合があります。

※2 『リフォーム名人』単独でご利用の場合です。

『賃貸名人』と連携する『リフォーム名人 賃貸名人連動版』のデータは、『賃貸名人』のデータ内に存在し、自身はデータファイルを持ちません。



名人シリーズのデータファイルが格納されているフォルダ

次のパスはインストール時にインストール先を変更していない場合の標準インストール先フォルダです。フォルダが見つからない場合は、前項のファイル名でパソコン内を検索してください。Microsoft SQL Server 2019 や Microsoft SQL Server 2016 は Windows 8.1 や Windows 10 などの 32bit では動作しません。

Microsoft SQL Server 2019

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL15.DANGONET\MSSQL\Data

Microsoft SQL Server 2016

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL13.DANGONET\MSSQL\Data

3. プレコマンドとポストコマンド

Microsoft SQL Server が動作中の場合、データファイルのコピー処理に失敗することがあります。一般的なバックアップソフトでは、こうした事態に対処するため処理開始前、処理終了後に実行する命令を指定することができます。本章ではそのような処理開始前に実行する命令(プレコマンド)と処理終了後に実行する命令(ポストコマンド)を紹介します。ただし、お使いのバックアップソフトにおけるプレコマンド/ポストコマンドの設定可否および設定手順は該当ソフトの開発元あるいは販売元にお問い合わせください。

コマンドの記述

下はインスタンス名「DANGONET」を指定している場合のコマンドです。

名人シリーズにおいては主に Microsoft SQL Server 2016 を用いたバージョンが該当します。

プレコマンド

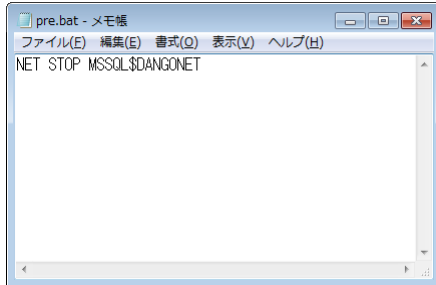
```
NET STOP MSSQL$DANGONET
```

ポストコマンド

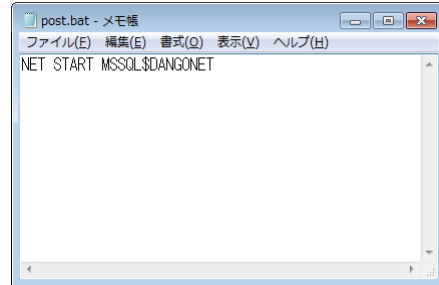
```
NET START MSSQL$DANGONET
```

バッチファイルの使用

他社バックアップソフトの仕様でコマンドやパラメータを直接記述できない場合は、任意の名前でバッチファイルを作成し前項のコマンドを記述します。プレコマンド/ポストコマンドとして、このバッチファイルを指定します。



<プレコマンドのバッチファイル>

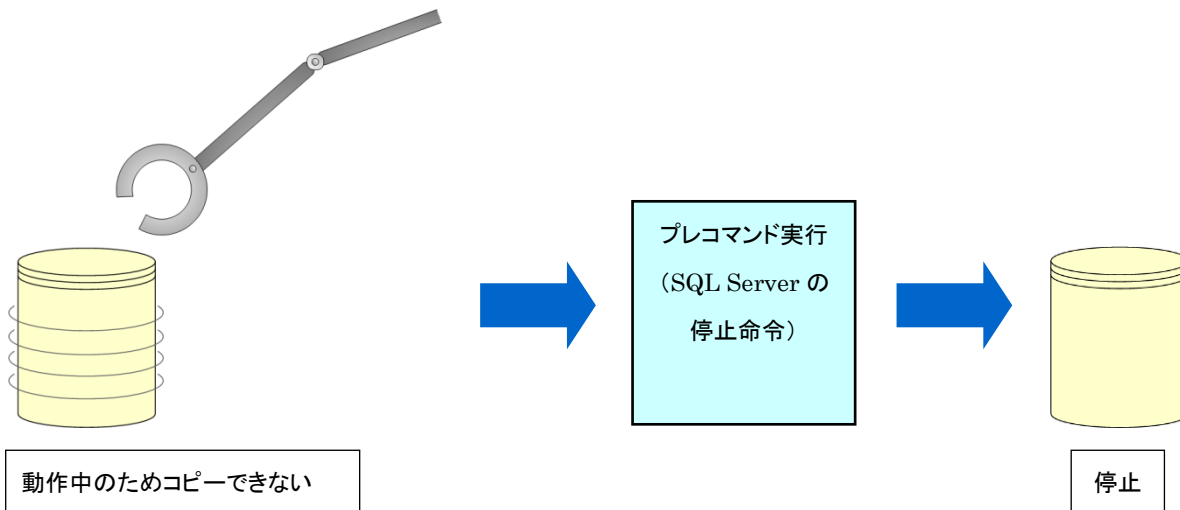


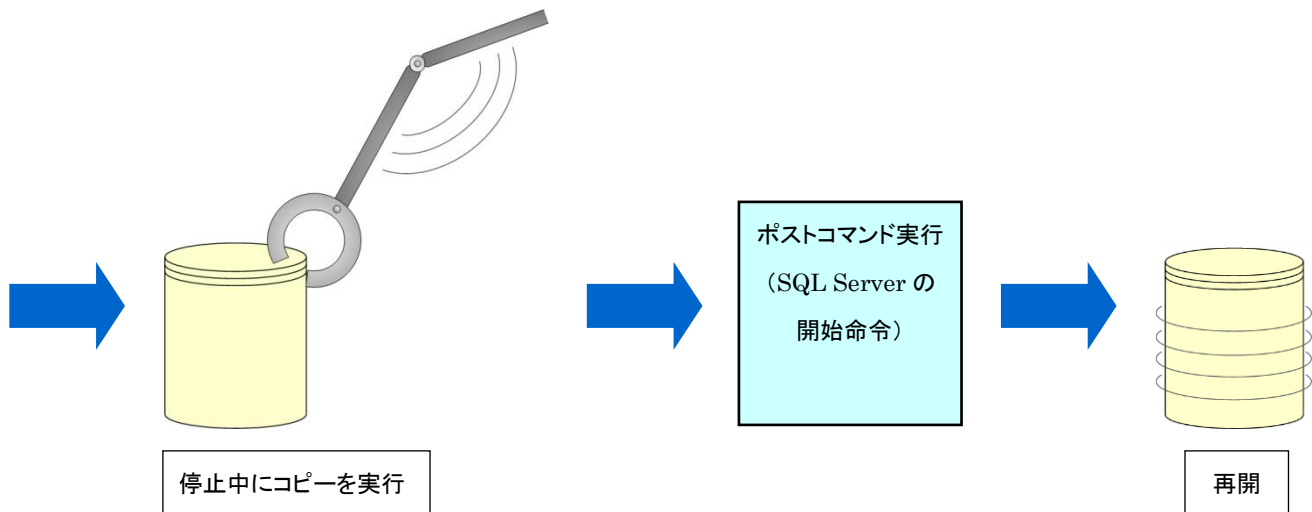
<ポストコマンドのバッチファイル>

プレコマンド/ポストコマンドの挙動（概念）と一般的な実施スケジュール

プレコマンドが実行され SQL Server が停止してからポストコマンドが実行されるまでの間は、SQL Server が停止中のため名人シリーズを使用することができません。そのため、コピー処理は深夜等の不在時間に実行されるようスケジュールを組むことが一般的です。

下の漫画はプレコマンド/ポストコマンドと SQL Server およびバックアップソフトの関連を示しています。





4. 画像やオプションソフトのフォルダ

名人シリーズに登録した写真等の画像ファイルや、名人シリーズのオプションソフトで作成したファイル（例えばちらしファイル等）は、それぞれ指定した保存先に格納されています。それらのファイルが他社製バックアップソフトでバックアップを行うパソコンに存在する場合、合わせてコピーを取得すると良いでしょう。

- 画像や資料の保存先
- 不動産チラシデザイナーで作成したチラシの保存先
- パワーキャンバスで作成したチラシの保存先

<賃貸名人 マスター登録画面の例>

△Point

画像やオプションソフトのバックアップについての詳細は、該当の名人シリーズのマニュアルを参照してください。